

■ みどりのまち親愛(令和元年度事業報告)

令和元年度経営方針

資格者配置に基づく加算等の各種加算を最大限に活用するほか、利用率の向上と職員数の適正配置を進め、安定した経営を目指す。

ユニットケアが目指す「一人ひとりの自分らしい暮らし」に向けた支援が行えるよう、職員の育成に取り組む。また、寝具・食器の一部共用化による業務の効率化や、「24H シート」の活用を通じたユニット内の情報共有化を進める。

在宅サービスへの取り組みでは、福原地区福祉ネットワーク活動への参加を通し、地域社会との共生、地域における公益的な活動を実施していく。

人材不足解消に向け、年間を通して求人活動を行うとともに、離職防止についての取り組みを行っていく。

令和元年度度取り組み

1 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ ユニット費による活動の取り組み</p> <p>各ユニットの入居者の希望に沿った独自の取り組みを進めるため、ユニット費による活動を継続していく。経費の取り扱いについては、再検討し、年間計画を立て実施していく。</p> <p>1万円(月) * 5ユニット * 12か月 = 60万円(年)</p>	<p>各ユニットへユニット費を3か月分ごとに支給し、取り組みに融通が持てるよう調整した。計画的に取り組むユニットと活動自体が滞るユニットとの差が大きかった。</p> <p>ユニットの状況に応じた活動と経理規定に沿った運用の見直しが課題である。</p>
<p>◆ 共生型サービスの導入準備</p> <p>デイサービス利用者の地域ニーズへの対応として、共生型サービスの実施に向け関係機関と情報交換を進める。</p>	<p>障害者福祉課と協議を行い、事業申請を行った。</p> <p>令和2年4月より事業開始となった。</p>

2 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 介護知識・技術を高めるため、外部研修への参加と施設内研修を行う</p> <p>① キャリアパス制度に則し、職務に応じた研修の受講を進める。</p> <p>② ユニットケア推進のためユニットケア実施施設への現場職員の見学研修を実施していく。</p> <p>③ 内部研修については別に日程を設定し実施していく。</p>	<p>① 研修計画に基づき、各職員の経験年数や役割に応じて県社協等の主催する研修に参加した。</p> <p>研修数 21回 参加者 28名</p> <p>② 10月29日 合掌苑(町田市)見学 参加者:4名 IT機器導入による実践</p> <p>11月27日 やすらーじゅ瑞穂(川越市)見学</p>

	<p>参加者:6名 ユニットケアの実践</p> <p>③ 運営計画書の日程に沿って実施した。</p> <p>1月開催予定であった事故発生防止研修と虐待及び身体拘束に関する研修は、コロナウイルス予防のため中止し、参加予定職員へ研修資料の配布を行った。</p>
<p>◆ 資格取得についての取り組み</p> <p>資格取得を推進するため、初任者研修、実務者研修受講者に対し、介護人材確保促進事業等の補助金の活用により、受講料の補助を行う。</p>	<p>介護福祉士試験に1名が受験した。埼玉県介護職員資格取得支援事業に該当した職員はいなかった。</p>

3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 寝具リース内容の追加変更</p> <p>寝具については、衛生面の課題や、個々のカバー類の洗濯、配布等の管理が煩雑であることから、他施設の取り組みを参考にリースを導入していく。</p>	<p>寝具については、寝具一式、防水シート、清拭布をのぼりやりネン株式会社とリース契約を行い導入した。ご本人の希望により一部の入居者においては自己所有の寝具を使用している。</p>
<p>◆ 食器の一部共有化</p> <p>入居にあたり使い慣れた食器の持参を基本としてきたが、実態は入居時ホームセンター等で購入し持参する状況であることから、副菜の取り皿等については、共有の食器を導入し、配膳、洗浄、保管等の業務の効率を図る。</p>	<p>ご飯茶碗、お椀、箸、湯飲みは自己所有のものを使用し、副食用の食器(平皿、小鉢、麺類に使用するどんぶり等)は共有の食器を用意し提供した。7月より実施したが、入居者からの不満は特になく、職員不足の中、業務の効率化につながった。</p>
<p>◆ 救急カート及びポンペ架台の購入</p> <p>緊急時に必要となる機材等を、所定カートに準備しておき、迅速な対応を行う。</p>	<p>救急カートを購入し緊急時に対応した。</p>
<p>◆ パソコンの入れ替え</p> <p>対応年数の過ぎたパソコンの入れ替えを行う。</p>	<p>故障したパソコン1台の入れ替えのみ行った。次年度よりリース期限が切れるものから順次行いたい。</p>

4 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 防災倉庫の設置</p> <p>防災備品保管のため、防災倉庫の設置を行う。</p>	<p>8月に防災倉庫を設置した。防災備品及び日用品の一部保管に使用している。</p>

<p>◆ 災害防止</p> <p>① 消防計画に基づき防災訓練を実施する。</p> <p>② 災害時の職員安否確認方法の再検討。</p>	<p>① 消防計画に基づき年間2回の訓練を実施した。</p> <p>7月4日（日中想定）消防署の立ち合い</p> <p>12月10日（夜間想定）消防署の立ち合いなし</p> <p>② 災害時安否確認については、法人防災委員会にて検討中である。</p>
--	---

5 その他

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>◆ 人材確保・定着</p> <p>① ハローワーク、求人情報企業を活用し年間を通し求人活動を行い、2ユニット常勤職員7名の変則勤務体制を基本として、非常勤職員を含め2対1の職員配置を目指す。</p> <p>② 夜勤、宿直専門の非常勤職員の導入を検討し勤務体制の改善を図る。</p>	<p>① 年間を通して職員の異動、退職があり、常勤職員の7名体制を維持することが困難な時期があった。非常勤職員の採用も進まず、ユニットにより職員配置に差が生じている。年末から年度末にかけて、派遣職員の導入、法人内の他事業所からの職員応援、超過勤務で調整した。</p> <p>② 夜勤非常勤職員が年度途中で退職となった。看護職員のオンコール体制が不安定な中で、宿直者の非常勤化も困難であった。</p>
<p>◆ 腰痛予防の取り組み</p> <p>① スライドボード、跳ね上げ式車いすを必要に応じ購入していく。また、介護ロボットの情報収集を行う。</p> <p>② 外部講師による腰痛予防講座を開催する。</p>	<p>① 車いすについては、入居者の状態に応じ、リクライニング式を3台購入した。入居者の姿勢保持と移乗時の介護に有効であった。</p> <p>② 9月9日16:00～介護技術研修として実施 講師：医療法人瑞穂会理学療法士 森田氏 参加者：11名 当日参加できなかった職員からの質問に対して、後日、詳しい回答の返信があった。</p>
<p>◆ 地域における公益的な活動の実施</p> <p>福原地区福祉ネットワークの活動に参加し、地域の福祉的課題に取り組む。必要に応じて子ども食堂、学習支援の取り組みを実施していく。</p>	<p>福原地区ネットワークの活動については、2か月ごとの運営会議の参加と各事業所が持ち回りで行った市民講座へ参加した。また、9月21日の第11回市民講座は、親愛会にて地域生活定着支援事業の概要と活動についての講座を開催した。</p> <p>子ども食堂、学習支援については、自治会、公民館等から情報を収集したが、地域のニーズとして確認できなかった。</p>
<p>◆ 稼働率管理</p> <p>介護老人福祉施設95%、短期入所80%、通所介護75%を越える年間稼働率を目指す。</p>	<p>介護老人福祉施設の稼働率は91.5%であった。</p> <p>短期入所の稼働率は、76.1%であった。</p> <p>通所介護の稼働率は、74%であった。</p>

■ みどりのまち親愛（令和元年度事業報告 資料）

令和2年3月31日現在

①利用者状況

(1)要介護度(名)

要介護度			
	男	女	計
5	3	27	30
4	8	21	29
3	8	14	22
合計	19	62	81

平均介護度=4.1

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	65歳以上～70歳未満	70歳以上～75歳未満	75歳以上～80歳未満	80歳以上～85歳未満	85歳以上～90歳未満	90歳以上	平均(歳)
		(特養)	男	1	3	7	1	
	女	0	5	6	12	14	25	87.2
	計	1	8	13	13	18	28	85.6

(3)通院・入院状況(名)

区分	科目										
	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
通院者	55	119	16	20	6	15	40	1	1	72	345

その他の内訳 脳神経外科 30 形成外科 25 神経内科 1 泌尿器科 3 その他 13

往診の状況

	関本医師	佐々木医師	健友会(歯科)	眼科	サクマ心のクリニック	その他
受診者	1,145	1,155	1,173	10	8	43

入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入院者数	8	9	8	6	7	7	7	6	6	9	9	5	87	7.3
延入院日数	168	162	71	89	134	101	121	125	88	159	130	68	1,416	118

※入院者数は昨年より18名増え、延べ入院日数は182日増加した。

②事業所状況

(1)各事業の実施状況

【特別養護老人ホーム】 定員 90 名

月	入居者数	退居者数	月末在籍者数	延べ利用人数	稼働率(%)
4月	1	1	88	2,473	91.6
5月	3	3	88	2,505	89.8
6月	2	3	87	2,570	95.2
7月	3	2	88	2,583	92.6
8月	1	1	88	2,604	93.3
9月	1	2	87	2,489	92.2
10月	3	3	87	2,609	93.5
11月	3	2	88	2,460	91.1
12月	1	2	87	2,623	94.0
1月	1	2	86	2,503	89.7
2月	1	6	81	2,287	87.6
3月	1	1	81	2,445	87.6
合計	21	28		30,151	
平均			86.3		91.5

※昨年度より延べ利用者が 299 人減り、稼働率が 1.1%減少した。

【短期入所生活介護事業】 定員 10 名

月	要支援・要介護度							延べ利用人数	稼働率(%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	0	0	13	78	92	14	42	239	79.7
5月	0	0	9	36	88	15	39	187	60.3
6月	0	0	5	52	124	15	27	223	74.3
7月	0	0	4	44	161	13	19	241	77.7
8月	0	0	22	70	119	20	20	251	81
9月	0	0	11	36	141	26	25	239	79.7
10月	0	0	7	33	149	27	14	230	74.2
11月	4	0	3	28	117	25	15	192	64
12月	4	0	9	41	182	19	17	272	87.7
1月	4	0	8	43	144	35	13	247	79.7
2月	0	0	6	40	152	18	28	244	84.1
3月	0	0	5	13	146	22	37	223	71.9
合計	12	0	102	514	1,615	249	296	2,788	
平均									76.1

※昨年度より延べ利用者数が 81 人増え、稼働率 2 %増加している。

要介護度 5 の利用者が 709 人から 296 人に減少し、要介護度 3 の利用者が 864 人から 1,615 人に増加している。

【地域密着型通所介護事業】 定員 15 名

月	要支援・要介護度							延べ利用 人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	12	0	53	77	42	16	24	224	57.4
5月	17	0	56	91	45	20	26	255	63.0
6月	17	0	57	93	45	28	24	264	70.4
7月	24	6	57	119	46	29	27	308	76.0
8月	25	7	67	114	52	31	20	316	78.0
9月	26	8	44	119	59	29	24	309	82.4
10月	25	6	43	121	52	27	21	295	75.6
11月	33	8	50	107	48	29	22	297	76.2
12月	29	9	48	105	52	28	25	296	78.9
1月	24	4	48	106	42	23	13	260	72.2
2月	22	0	78	110	59	28	12	309	82.4
3月	10	0	81	118	59	32	8	308	79.0
合計	264	48	682	1,280	601	320	246	3441	
平均									74.0

※延べ利用者数は昨年度より 710 名増加し、稼働率は 9.4%上がった。

平均利用者数 11.1 名/日 (昨年度 8.8 名/日)

(2) ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	293	その他(傾聴)	28
行事活動(外出引率等)	15		
環境整備(掃除・洗濯等)	0	合計	336

(3) 実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	9	21	190